



学校便り きらきら天妃っ子



那覇市立天妃小学校

2月号 令和6年2月1日
校長 平良 その子

音楽発表会

去る1月28日の「音楽発表会」には、保護者、ご来賓の皆様にご声援をいただき、大変ありがとうございました。朝の挨拶運動や安全管理等、ご協力いただきましたおやじの会の皆様にも深く感謝申し上げます。

これまで、子供達は、「心をついに 助け合い きれいな音色で音楽を楽しもう」のスローガンのもと、「音楽発表会を成功させたい」「家族の方々にこれまで頑張ってきた成果を発表し、感謝の気持ちを伝えたい」という思いで、一生懸命練習を重ねてきました。

本番では、1年生から6年生まで、合唱、合奏、ボディパーカッションなど、様々な演技を会場の皆様の前で披露したことで、子供達は満足感、達成感を味わうことができましたと思います。また、練習の過程を通して、最後まで諦めずにやり抜くことの大切さや音を合わせることの楽しさ、音楽をする喜びなどを感じることができたと思います。

〈1年生〉「ひろげよう♡なかよしのわ」



〈2年生〉「音楽で咲かせよう！ 笑顔の花を」



〈3年生〉「元気でつなぐ 天妃っ子ハーモニー ♪」



裏面もあります

〈4年生〉「スーパーファンタスティック 天妃っ子マーチ」



〈5年生〉「仲間と共に届けよう ハーモニー ♪」



〈6年生〉「♪ありがとう♪ ～6年間の思いを込めて～」



全力で心を一つにして頑張った天妃っ子。

児童を代表して、6年生の金城翼さんが、練習から本番までの思い伝えてくれました。

児童代表あいさつ

6年 金城 翼

私たちは音楽を通して、「心を一つに助け合い、きれいな音色で音楽を楽しもう」をテーマに、練習を頑張ってきました。どの学年も自分たちらしい音楽で練習の成果を発揮していて素晴らしい演奏になったと思います。

私たち6年生は、音楽発表会の意味についてみんなで考えて、親や天妃っ子みんなに感謝と感動、音楽の楽しさを届けることを目標にして練習に取り組みました。はじめは、リコーダーの演奏もうまくいかず、音も揃わなかったけど、朝の時間、お昼休み、放課後、ありとあらゆる時間を使ってみんなが自分の音と向き合ってきたから、心も一つに自分たちらしい音楽になりました。

今までの音楽発表会は、はやりの曲をやるが多かったけれど、私たちは校歌を選びました。それは、古い校舎が無くなって形あるものは消えてしまうけど、校歌はみんなの心に残り続けるものだから、私たちの天妃小学校での思い出や伝統も校歌と共に残り続けてほしいという思いがあったからです。

私たちは音楽が好きです。音楽の良さは、大切な人を感動させることができるということです。そして、音楽が得意な人も苦手な人も力を合わせて演奏すると、より多くの人々の心へ感動を届けることができます。一人がリコーダーを吹いたら誰かが一緒にリコーダーを吹いてくれて、次は誰かが鍵盤ハーモニカを吹いてくれて、鉄琴や小太鼓になったり、歌い始めたりして音楽の輪は広がっていきます。小学校6年間で私はそんな音楽と出会いました。

私たち6年生はもうすぐ卒業するけど、天妃っ子のみんなにはそんな友達とつくる音楽を楽しんでほしいです。

中学生になってもこの学びを活かして、みんなで創り上げたもので、大切な人に思いを届けたいです。